

序章

第3節 中間見直しの論点

中間見直しの論点

この序章で本市の状況を整理したところ、その論点は、次の3点に集約できます。

1 人口の推移

平成27年国勢調査の結果、平成33年度の目標人口としていた54,000人を達成しました。

2 意識調査

市民や転出者を対象とした意識調査の結果、「市民協働のまちづくりは、道半ばである」などの課題が明らかになりました。

3 政策の進展状況

施策評価と事務事業※評価により、毎年、野々市市第一次総合計画に掲げるまちづくりの基本目標(施策)を評価してきた結果、主に次のような進展がありました。

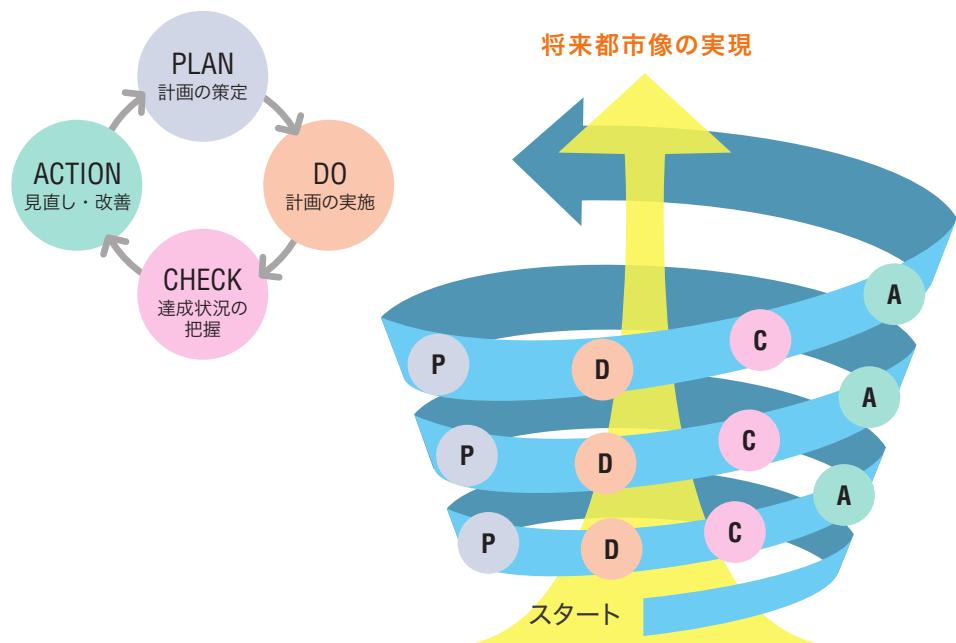
- まちづくり基本条例※の制定による市民協働の推進
- 野々市中央地区をはじめとする都市基盤の整備
- 野々市版地域包括ケアシステムの基盤の整備
- 富奥防災コミュニティセンターの整備
- 野々市北交番の整備
- 防災行政無線の整備
- 野々市市営墓地整備計画の策定
- 大学連携の拡充 など

本計画は、野々市市第一次総合計画の中間年を迎えるにあたり、本市を取り巻く社会動向や現在の本市の状況に対応するため、PDCAサイクルに従い、中間見直しを行ったものです。

野々市市第一次総合計画は、市制施行後のまちづくりの道標として策定し(Plan=計画の策定)、平成24年度から計画に定める施策を実施してきました(Do=計画の実施)。

このたび、施策や政策の達成状況を把握することで(Check=達成状況の把握)見直しを行い(Action=見直し・改善)、野々市市第一次総合計画【中間見直し】として策定しました(Plan=計画の策定)。

このようにPDCAサイクルを繰り返し、良い点は継続や強化を図り、修正すべき点は改善を図ることで施策の内容を向上させ、将来都市像の確実な実現をめざします。



また、次章 第1章の各節の冒頭には、「中間見直しの視点」を記述しています。

これは、野々市市第一次総合計画【中間見直し】の策定にあたり、各節の見直しのポイントを整理したものです。